



Sekisyo 通信



R6・10・5

NO, 17

文責：校長 酒井



めざす児童像：夢や希望を追い求め、失敗も学びにかえる子

☆☆ 令和6年度、最高の折り返し。小体連陸上大会 ☆☆



10月1日今年度も、あっという間に半分が過ぎました。

後半戦のスタートは、先日もお知らせした、第42回小体連陸上大会。6年生によるこの大会は、コロナ感染症の影響で数年間中止となっていました。地区の子ども達が、運動の基本でもある陸上競技大会を目指して取り組み、一堂に会することに大きな意義があるとの考えのもと復活した行事です。

6年生は、体育の時間や放課後、時には昼休みを割いて練習に取り組んできました。約一ヶ月の練習期間も、今年は猛暑と突然の雨の影響で、中止や変更を余儀なくされることも多く、決して満足のいくものではなかったかも知れませんが、条件の揃う時には全スタッフで指導に当たり、子ども達もこれにしっかりと応えてきました。

今年度も全員が選手。改修が進みリニューアルした鳥見山陸上競技場のタータン（ゴム）のグラウンドを走るの、なかなかできない体験です。10月1日の本番では、多くの声援を背に、「1秒でも速く」「1cmでも遠く」へと、力の限り最後まで取り組んだ自慢の子ども達です。結果が全てではありませんが、大会新記録も飛び出し、取り組みの成果も表れ、後半戦の幸先良いスタートとなりました。

祝 石川地区小体連陸上大会	
男子80mH	1位 遠藤 晴 4位 須藤好誠
女子80mH	8位 岩谷虹海
女子800m	2位 鈴木未来乃
女子100m	8位 久下莉里香
男子1000m	2位 福田捷翔 6位 鈴木創介
女子ジャバホ-ル投げ	1位 山田一華 4位 横山海空
男子ジャバホ-ル投げ	7位 宮本陽翔 8位 長谷部光希
男子走幅跳	1位 添田煌聖
女子走幅跳	4位 須藤 佑奈 6位 金澤璃歩
男子100m	1位 山田桜太郎(大会新記録) 6位 小林湊翔 7位 関川 翔真
男子4x100mR	1位 石川小(大会新記録)
女子4x100mR	3位 石川小

7月15日 4校時 13:00 下校 13:15 SB

<職員室の黒板には入賞者の名前が...>

あれ～お姉さんは一緒にじゃないの？

あのね、友達と途中から歩くようにしたんだって。

じゃあ、一緒に歩けるようになるっていいね。

朝からの友達との楽しい会話が聞こえてきそうです。

様々な家庭の事情もあり一様には言えませんが、「食う・寝る・歩く（遊ぶ）」は生活の基本です。来月上旬にはマラソン大会も準備しています。どうぞ、引き続きのお力添えをお願いします。

※裏面もご覧ください

☆☆突然の豪雨,飛び出した勇者(5年生)はたしてそのゆくえは?☆☆

先生,幼稚園の子ども達が大変です。ほら,あそこ,ライオンズの森。

あら本当だね,どうしよう!?

先生,助けに行ってきます。

事件が起きたのは,先週の初め。

学校の隣の野球場が会場となるため,約1か月前から運動会の練習を行ってきた町内の幼稚園児。練習の合間や昼休みには,石小自慢の「ライオンズの森」の,「心学の池」や「昇竜の滝」,遊具などで自由に遊び回るのが日課となりました。

その日も,ライオンズの森にやってきた園児,いつものように遊具で遊んでいると,バケツをひっくり返したような突然の雨。付添いの先生はいましたが,とりあえず大きな桜の木の下に避難しました。

しかし,その場からは一歩も動けません。ちょっとしたパニック状態です。すると,颯爽と校庭に飛び出してきたのは5年生の勇者!?!たち,手にはしっかりと傘が握られています。ポンポンと小気味よく階段を跳ね上がり,桜の木めざし一目散に園児のもとへ…。

みんなもう大丈夫だよ。心配しないで。

この傘使って…,さあ,戻ろうか!?

しばらくして全員を救出すると,何事もなかったかのように教室に戻った勇者たち。

この日,私は出張で学校を留守にしていたので,上記の内容は帰校後に様子を見ていた職員からの報告と,次の日わざわざお礼に来てくださった園長先生の証言をつなぎ合わせて再現したものです。(原則ノンフィクションですが一部想像も!?)

10月,令和6年度も半分が過ぎました。今年度も「自主・自律・自治」を合言葉に,子ども達の主体性を育む取り組みを重視してきました。善い(良い)と思うことは進んで行く,例え失敗に終わっても決して無駄にはならない,失敗することも大切であるとスタッフ間で確認して実践を繰り返してきた半年です。授業中,校庭に飛び出した子ども達,それを善とした先生,クラスの様子が目に浮かびます。こんな姿を待っていました。話を聞き,込み上げる感動を一人噛みしめる校長でした。

実は,この話には続きがあります。遠くから押っ取り刀で駆けつけた例の園長先生,子ども達にその場で,「授業中なのにありがとう」と,お礼を言ったそうです。すると勇者からの返事は…。

園長先生,ぜんぜんだいじょうぶです,算数ですから。

よく見ると,傘も持たずに飛び出してきた子も何人かいたとか…,勇者のメッキがちょっとはがれかかった瞬間です。(笑)

先日は,その5年生たちが,春から田植えを行い見守り育ててきた田んぼで稲刈りを体験しました。今年も,多くの案山子が雀から稲を守っただけあって,なかなかの収穫でしたが,そのやりとりも実にほのぼのとしたものでした。お世辞にも良い天気とは言えませんが,何とか雨も降らずに予定通り実施できたのは,5年生の普段の行いの賜物かもしれません。

地主の岡崎さん,JAみなみのみなさんの協力,今回は地域の相樂さんが「はせがけ」の杭と竹を寄贈してくださいました。ありがたいことです。

